

日時：2025年10月31日（金） 午前

場所：IDEC 1階大会議室

研修内容：石田先生による教育政策における評価に関する講義

概要：

本日は、IDEC 大会議室において、政策やプログラムの評価に関する講義が、石田先生により行われた。評価は、政策やプログラムの運用や成果を体系的に分析し、事実の把握と価値判断を通じて改善につなげる手段であるものと説明があった。

評価は、妥当性、有効性、効率性、持続性の観点が重要であると説明があり、東広島市や、広島大学などの自己評価と、外部機関による評価の実例を示しながら、評価の目的と課題が述べられていた。

後半には、JICAによる小学校建設の事後評価にも触れられ、施設整備などの目標は達成された一方で、維持管理体制や予算不足といった持続性の課題が明らかにされた。

参加者からは、内部評価と外部評価のそれぞれの特性に関する質問があり、内部評価は、費用が抑えられたり、その環境の背景を含めた評価がなされたりするという良い点もあるが、偏見が入るといった悪い点もあることが石田先生から回答があった。他にも、自国の教育政策に対する評価に関する質問や、JICAの取り組みに関する質問があった。今回も、積極的に反応や質問が行われ、実り多い時間となった。本日で広島におけるJICA研修の日程はすべて終了した。



日時：2025年10月21日（火） 午後

場所：広島大学ミライクリエ会議室

研修内容：Lecture and Reflection

概要：

講義「The Structure and Characteristics of Curriculum Administration in Japan: The Composition and Features of the Curriculum Guidelines, Practical Curriculum Development and Specific Curriculum Practices in Schools」

講義の冒頭では、参加者全員と教授たちの自己紹介を一人ずつおこなった。

講義内容(前半)：国家レベルの教育課程行政、教科書制度、評価制度

講義内容(後半)：学校カリキュラム、教科外カリキュラム、日本のカリキュラムの特徴

文部科学省による学習指導要領についての説明、日本と各国との違いを比較しながら講義が進行していった。教育制度や指導要領などは日本の法律と密接に関係があるため、複雑な議論が展開されていた。参加者からの発言も積極的に行われ、意見交換が多く見られた。

